

# 地方分権改革の旗手会議（令和5年度第1回）の概要

【日時】令和5年8月28日（月）～31日（木）※対面開催：8月30日（水）地方分権改革推進室内会議室

【開催方法】対面開催及びWeb開催（使用する会議ツール：Zoom、Webex）

【参加人数】旗手交流会：53名

※ 全体会議は、YouTubeによる動画配信を視聴  
（視聴期間：令和5年8月24日（木）～9月29日（金））

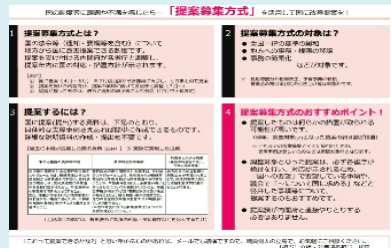
※旗手会議は、全体会議（内閣府からの説明、地方自治体による事例紹介）と旗手交流会（旗手同士の交流、情報交換を目的）の2部構成としている。

## ○全体会議 （内閣府からの説明及び地方自治体からの事例紹介）

独自の取組を行っている地方自治体から、提案の募集方法や提案募集方式の周知の取組について紹介いただきました。  
（北海道北広島市）



【恩田室長 あいさつ】



【北広島市の説明資料（一部）】

## 【参加者の声】

- 提案の掘り起こしに当たり、どの団体も同じような悩みを抱えている中、各団体の取組事例を聞いたことはよかった。交流会で得たヒントを基にして次の提案発掘に向けた検討を進めていきたい。
- 旗手会議では他の自治体の取組を知ることができ、実際に会議後に資料の共有を行い、本県においても取組を検討することとなったため、有意義であった。
- 北広島市の事例紹介は勉強になりました。

## ○旗手交流会（60分間）8グループで意見交換を実施。

【テーマ】

- ① 提案の掘り起こしの方法、提案の集め方について
- ② 組織内における提案募集方式の周知方法や提案募集のプロセスについて

### 主な発言

- 内閣府からの作業依頼の前段階の12月ごろにまず庁内にチラシを配布し、その後ポータルサイトで制度の周知を行っている。完成形を集めるのではなく、困っている案件なども集まるよう工夫している。また市町村課が内閣府に講師を依頼し研修も行っている。
- 内閣府からの提案募集開始の通知の直後に、各部署の30数名で構成するプロジェクトチームを通して庁内に照会を行っている。
- 市町村との連携は、事前相談の段階で市町村に照会をかけて取りまとめを行っている。その内容を市町村にフィードバックすることにより、市町村との共同提案等も多くなっている。

### 旗手交流会の様子

